



【先週 11月15日～11月21日の外食の出来事】

■ペッパー、33億円の赤字 1～9月 事業の売却益で補えず

ペッパーフードサービスは、1～9月期の単独最終損益が33億円の赤字だった。ステーキチェーン「ペッパーランチ」事業の売却で73億円の特別利益を計上するも、全体の苦戦を補えなかった。9月末時点でも債務超過が続いた。

■ゼンショーHD、すき家回復 郊外堅調 7～9月、営業黒字 70億円確保

ゼンショーの2020年7～9月期の連結営業利益は前年同期比2割減の70億円強だったようだ。従来予想を20億円程度上回る。赤字だった4～6月期から黒字化した。主力の牛丼店「すき家」に来店客が戻った。

■ロイヤルHD、最終赤字最大 今期280億円、機内食事業が低迷

ロイヤルホールディングスの2020年12月期の連結最終損益は280億円弱の赤字(前期は19億円の黒字)になりそうだ。過去最大の赤字額となる。新型コロナウイルスの感染拡大で国際線の便数が激減し、機内食事業が低迷する。

■日本マクドナルド／1～9月、テイクアウトとデリバリー拡大で増収増益

マクドナルド発表した第3四半期決算によると、売上高2134億6700万円(前年同期比1.8%増)、営業利益253億5700万円(17.8%増)、経常利益252億7600万円(19.0%増)、当期利益161億300万円(21.0%増)となった。

■大戸屋ホールディングス、上半期(2020年4月～9月)の連結業績 減収赤字

2021年3月期 第2四半期の連結業績を発表。売上高73億3200万円(対前年同期比40.5%減)、営業損失26億7300万円(-)、経常損失25億1900万円(-)、四半期純損失46億5400万円(-)であった。

■ワタミ閉鎖追加 計114店 4～9月、71億円最終赤字 コロナ長期化

ワタミは、居酒屋など全店の2割にあたる114店を2021年3月末までに閉店する。当初は65店を閉店する計画だったが、新型コロナウイルスの流行が長引き、閉店対象を追加する。不採算店を整理して収益悪化を和らげる。

■サンマルクホールディングス、上半期(2020年4月～9月)の連結業績 減収赤字

2021年3月期 第2四半期の連結業績は売上高182億9100万円(対前年同期比49.0%減)、営業損失31億2200万円(-)、経常損失30億9100万円(-)、四半期純損失58億2700万円(-)であった。

■すかいらーく、第3四半期(2020年1月～9月)の連結業績 減収赤字

2020年12月期 第3四半期の連結決算は売上収益2135億6300万円(前年同期比25.1%減)、営業損失211億4300万円(-)、税引前損失237億1000万円(-)、四半期損失146億2400万円(-)であった。

■フジオグループ本社、第3四半期(2020年1月～9月)の連結業績 減収赤字

2020年12月期 第3四半期の連結業績は売上高194億4700万円(対前年同期比32.4%減)、営業損失24億7200万円(-)、経常損失24億300万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純損失33億7900万円(-)であった。